

平成28年度事業評価結果報告書
(平成27年度実施事業)

平成28年10月
かつらぎ町行財政対策協議会

目次

1.かつらぎ町行財政対策協議会	1
2.かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿	1
3.事業評価の方法	2
4.事業評価会議の開催日時	2
5.評価の結果	3~21

1. かつらぎ町行財政対策協議会

かつらぎ町行財政対策協議会は、町長の附属機関として町長の諮問に応じ、行財政運営の改善対策に関する基本事項の審議、町の施策・事業等の評価検証を行うために設置されている。

本年度については、本町が実施している事業の中から、必要性・有効性・効率性や住民ニーズの変化に照らして検証が必要と思われる事業を選定し、そのあり方について外部の視点から評価・検証を行った。

2. かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿

かつらぎ町行財政対策協議会は、下記の10名で構成されている。

【かつらぎ町行財政対策協議会委員】

任期：平成30年5月15日まで

(委員は、五十音順 敬称略)

役職	氏名	
会長	柳澤 一好	自治区長会 会長
委員	井本 嘉宏	かつらぎ町青年団 団長
委員	大江 吉人	和歌山県農業大学校 校長
委員	大家 敏史	日の丸観光バス株式会社 代表取締役
委員	奥田 英視	紀北川上農業協同組合かつらぎ支店 支店長
委員	櫻井 聡	かつらぎ町農業担い手交流会 代表
委員	中谷 保	かつらぎ町商工会 会長
委員	中谷 より子	女性会議 会長
委員	宮本 圭子	女性会議 副会長
委員	吉永 道代	紀陽銀行妙寺笠田連合店 総括支店長

3.事業評価の方法

担当課からの説明及び提出された資料にもとづき、事業の個別評価として「必要性」「有効性」「効率性」を各視点から検証し、「大いにある」「概ねある」「あまりない」「ない」の4段階で評価を行い、今後の事業の方向性として「拡充」「現状維持」「一部改善」「縮小」「休止・廃止」の5段階で評価を行った。

事業の最終評価は、『評価判定（今後の方向性）』で、最も多かった評価を本協議会における評価と位置付け、『意見集約過程での主な提案・意見』を踏まえたうえで、『評価に関するコメント』を総括とし、協議会としての意見としている。

◎ 対象事業：平成27年度決算主要施策実施事業

◎ 評価事業数：17事業（内、地方創生先行型事業 12事業）

< 評価手順 >

①担当課から事業の説明（5分）

②質疑応答・意見交換、評価シートへの記入（20分）

③評価判定及び意見の集約（5分）

4.事業評価会議の開催日時

第1回で、会長の選出と町長からの諮問を行った。

	日時	事業評価	場所
第1回	平成28年6月28日(火) 19:00~21:15	<ul style="list-style-type: none"> ・出産奨励祝金 ・かつらぎ町学童保育促進事業補助金 ・子育て講座（トリプルP）事業 	かつらぎ総合文化 会館3階研修室
第2回	平成28年7月26日(火) 19:00~21:45	<ul style="list-style-type: none"> ・農家民泊促進事業補助金 ・海外PR活動事業 ・無料職業紹介所運営 ・雇用創出・定住促進事業①雇用奨励金 ・雇用創出・定住促進事業②起業支援事業 	かつらぎ総合文化 会館3階研修室
第3回	平成28年8月30日(火) 19:00~21:45	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊事業 ・雇用創出・定住促進事業③定住促進住宅改修工事 ・定住促進住宅補助 ・定住促進PRビデオ制作業務委託料 ・若者交流促進事業 	かつらぎ総合文化 会館3階研修室
第4回	平成28年9月28日(水) 18:30~21:05	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン事業 ・救助資機材購入補助金 ・プレミアム付商品券発行業務 ・住民参加のまちづくり支援事業 	かつらぎ町役場 2階B会議室

【その他】

日時	内容	場所
平成28年10月6日(木)	町長への答申	町長室

5.評価の結果

平成28年度は、平成27年度に実施した主要施策135事業のうち、町が選出した17事業について、事業評価を実施したところであり、事業の方向性についての評価は、「拡充」0事業、「現状維持」10事業、「一部改善」6事業、「縮小」0事業、「休止・廃止」1事業となった。

本協議会の評価は、「現状維持」が最も多い結果となったが、「一部改善」の事業はもちろんのこと、「現状維持」と評価した事業においても、決して今まで通りのやり方での事業の継続を良しとするものではない。

町の財政状況がさらに厳しいものになっていくと予想される中、費用対効果についての検証と併せて、『PDCAサイクル』の強化を図り、事業の充実に努められたい。また、この報告書を第4次かつらぎ町長期総合計画の推進に役立てていただくとともに、来年度以降も事業評価を継続して実施していただくことを要望する。

【平成28年度かつらぎ町行財政対策協議会 事業評価結果一覧】

(平成27年度実施事業)

事業番号	事業名	担当課	委員数	今後の事業の方向性					評価判定
				拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止廃止	
1	定住促進PRビデオ制作業務委託料	企画公室	9	0	3	6	0	0	一部改善
2	定住促進住宅補助	企画公室	9	0	5	3	1	0	現状維持
3	雇用創出・定住促進事業 ①雇用奨励金	産業観光課	10	2	3	4	0	1	一部改善
4	雇用創出・定住促進事業 ②起業支援事業	産業観光課	10	2	6	1	1	0	現状維持
5	雇用創出・定住促進事業 ③定住促進住宅改修工事	建設課	9	0	9	0	0	0	現状維持
6	無料職業紹介所運営	産業観光課	10	1	1	7	1	0	一部改善
7	農家民泊促進事業補助金	産業観光課	10	0	0	8	1	1	一部改善
8	海外PR活動事業	産業観光課	10	0	1	4	2	3	休止・廃止
9	若者交流促進事業	企画公室	9	1	8	0	0	0	現状維持
10	出産奨励祝金	住民福祉課	10	1	1	7	1	0	一部改善
11	かつらぎ町学童保育促進事業補助金	教育総務課	10	3	4	2	1	0	現状維持
12	子育て講座(トリプルP)事業	教育総務課	10	2	4	3	0	1	現状維持

事業番号	事業名	担当課	委員数	今後の事業の方向性					評価判定
				拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止 廃止	
13	地域おこし協力隊事業	花園地域振興課	9	1	1	7	0	0	一部改善
14	高齢者サロン事業	やすらぎ対策課	10	3	6	1	0	0	現状維持
15	救助資機材購入補助金	総務課	10	2	7	1	0	0	現状維持
16	プレミアム付商品券発行業務	産業観光課	10	0	5	4	1	0	現状維持
17	住民参加のまちづくり支援事業	企画公室	10	1	6	3	0	0	現状維持

※事業番号8「海外PR活動事業」について、得票数では「一部改善」となるが、「縮小」と「休止・廃止」を合計すると半数となり、個別評価の有効性と効率性においても「あまりない」が最も多いことから、協議の結果、今回協議会の総評としては「休止・廃止」とした。

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

1	定住促進PRビデオ制作業務委託料	企画公室
---	------------------	------

●個別評価の判定

評価人数 9 名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	3 名	6 名		
②有効性		7 名	2 名	
③効率性		5 名	4 名	

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
			3 名	6 名	
評価に関するコメント	<p>紙媒体と異なるPRツールとして、ビデオ制作を行うことはいいと思います。今後、効果的な活用方法を十分に検討いただきたいと思います。そのためには、もう少し短時間で見ることのできる、集約版の作成も必要であると考えます。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○事業名称が定住促進であるため、子育て支援や出産奨励金等の制度のPRなど、ビデオ内容に移住・定住促進をテーマにしたものも欲しかったと思います。</p> <p>○定住促進のPRになるか疑問を感じます。また、ビデオを制作しているというPRも必要です。</p> <p>○今後の利用方法で有効性・効率性が決定すると思いますが、現時点ではまだ活用しきれていないので評価が難しいです。</p> <p>○もっとインパクトのある内容にしていきたい。</p> <p>○夏祭りや産業まつりなど、町の内外イベントで流せば一定の効果はあると思います。その他、道の駅や農産物直売所での放映、ふるさと納税の返礼品への同封や成人式での配布など、活用方法の検討をお願いします。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

2	定住促進住宅補助	企画公室
---	----------	------

●個別評価の判定

評価人数 9 名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	2 名	7 名		
②有効性	1 名	6 名	2 名	
③効率性		4 名	5 名	

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
			5 名	3 名	1 名
評価に関するコメント	<p>町にとって、定住を促進するためには必要な事業であると思います。しかしながら、現状では本事業による補助金を入居後に知る方が多いため、PR方法をもっと工夫し、周知を強化することで入居者の増に努めていただきたいと思います。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○制度のPR・広報を充実させることで、もう少し効果・成果が得られるように思います。</p> <p>○現居住者などへの配慮等が必要かと思われませんが、補助金によって入居を決めていないなど、アンケートの結果を見ると縮小の方向だと考えます。</p> <p>○今後の大規模修繕を含めた施設全体の運営面での問題点はありますが、工夫して何とかこの事業を継続していただきたいと思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

3	雇用創出・定住促進事業 ①雇用奨励金	産業観光課
---	--------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	2名		1名
②有効性	2名	7名		1名
③効率性	2名	7名		1名

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	3名	4名		1名
評価に関するコメント	<p>企業はこの補助金を有効活用することで、新規雇用者を丁寧に時間をかけて育てることができるため、有意義な事業であると考えます。また、幅広く小規模事業者にも制度利用を働きかけることで、町内への定住・定着という事業の目的を達することができると思います。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○予算の関係もあると思いますが継続・拡充していただきたい。ただし、企業側の補助金の使い方を検討し直す必要があります。</p> <p>○企業へのPRを強化していただきたい。この事業の必要性は大いにあります。</p> <p>○人手不足の地元企業に対する雇用支援として、例えば町内から県外の大学へ進学した者と地元企業とのマッチング等を対象とするなど、事業内容を見直して継続してはどうか。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

4	雇用創出・定住促進事業 ②起業支援事業	産業観光課
---	---------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	8名	2名		
②有効性	2名	8名		
③効率性	1名	9名		

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	6名	1名	1名	
評価に関するコメント	<p>始まったばかりの事業ですが必要性は高いと思います。今後も事業を継続し、問題点を抽出し改善を図っていただきたい。また、新規起業家への専門的なフォローや指導の徹底をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○事業開始から1年しかたっていない為、もう少しの期間様子を見て評価としたい。制度としては必要であると思うので、町として今後も支援して欲しい。補助金が無駄にならないよう、起業者の事業を軌道に乗せるフォローは重要だと思います。</p> <p>○起業者としてはありがたいと思います。もっと事業のPRをして、かつらぎ町を活性化して欲しい。</p> <p>○移住するきっかけとなり、地域の活性化につながると思うので今後も進めていただきたい。</p> <p>○事業を継続することによって、効果が分かりやすくなると思います。また、有効性・効率性についても起業数が増えることで良くなるのが期待できます。</p> <p>○一定の効果はあると思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

5	雇用創出・定住促進事業 ③定住促進住宅改修工事	建設課
---	-------------------------	-----

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	9名			
②有効性	5名	4名		
③効率性	3名	6名		

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
			9名		
評価に関するコメント	<p>定住促進のために必要な施設であると思います。特に2号館は町内で不足している単身向けに対応した住宅でもあり、需要も高いと思います。そのため、今後も健全な施設運営を行えるよう、施設の老朽化対応の検討をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○積極的な現状維持ではありませんが、必要最小限の改修により事業の継続をお願いします。</p> <p>○定住促進住宅はかつらぎ町に定住を希望する子育て世代・高齢者にとって必要であると考えます。そのためには改修工事等は必要かと思えます。</p> <p>○できれば拡充して欲しいですが、そうすることによりコストバランスが崩れそうなので現状維持としました。</p> <p>○今後も続けていただきたい。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

6	無料職業紹介所運営	産業観光課
---	-----------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	5名	5名		
②有効性	1名	6名	3名	
③効率性	1名	2名	7名	

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	1名	7名	1名	
評価に関するコメント	<p>ハローワークの情報を扱うだけでは、町が無料職業紹介を行う目的があまりないように思われます。そのため、1日の間で限られた時間しか働けない、または雇用できない、特殊な条件の求人者・求職者など、ハローワークではできない、きめ細かな地域密着型のマッチング活動を行っていただきたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○町内が潤うのであれば大いに賛成です。町外の求人情報もいいと思いますが、まずは地元の求人に力を入れていただけたらと思います。</p> <p>○農業については特有の求人求職の体系づくりが必要だと思えます。</p> <p>○当初の事業通り、農業分野に限った労働力のマッチング、町内の実需者に対するマッチングを考えたほうがいいと思います。</p> <p>○労働力が不足している地場産業の、農業労働力の確保にもっと重点を置いていただきたい。</p> <p>○若者への斡旋方法や、地元企業情報の周知方法等を検討していただきたい。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

7	農家民泊促進事業補助金	産業観光課
---	-------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	1名	2名	
②有効性		4名	6名	
③効率性	3名	4名	3名	

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
				8名	1名
評価に関するコメント	<p>現在、雇用の創出まではつながっていませんが、都市との交流による地域の活性化という面では一定の役割を果たしており、事業の必要性は高いと考えます。ただ、将来的には受入れ農家数を大幅に増やすことは難しく、逆に減ることが予想されます。そのため受入れ態勢の見直しを行うとともに、近隣市町との連携により、大規模な団体等を受入れられる取組みは重要だと思われます。また今後、受入れ農家の負担を減らし、利益が出るような仕組みづくりを期待します。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○事業を継続して行うためにも、公共の宿泊施設を利用するなど農家の負担軽減を検討いただきたい。</p> <p>○受入れる側が経済的に潤わないと、ボランティア感覚では長続きしないように思います。</p> <p>○農家の負担を考えると、今の段階では大きな改善をしない限りきびしいと思います。ただ、工夫をすれば大いに期待できる事業ではあると思います。農家の負担という考えから、農家の利益（ビジネス）という考えを持つことが必要です。まずはビジネスプランをきっちり考えてほしいです。</p> <p>○天野地区など、都市農村交流の素材としてはとてもよい場所だと思うので、うまく活用していただきたい。紀美野町や県グリーンツーリズムとの連携を図り、町だけでなくエリアとしての規模が拡大することで、都市の大型需要を取り込めるようなプロモーションも可能だと思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

8	海外PR活動事業	産業観光課
---	----------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	4名	3名	3名	
②有効性	1名		8名	1名
③効率性	1名		9名	

●評価判定（今後の方向性）

休止・廃止	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
			1名	4名	2名
評価に関するコメント	<p>評価判定について、得票数では「一部改善」となるが、「縮小」と「休止・廃止」で半数となり、個別評価の有効性と効率性も「あまりない」が最も多いため、協議の結果、今回協議会の総評としては「休止・廃止」との結論になりました。</p> <p>観光PRの必要性はおおいにあると思いますが、PR活動を町単独で行うのは難しいと思います。また単発的に行うのではなく、県やJA、旅行会社等との連携により、戦略的にPR活動を行っていただきたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○計画的な事業展開ではなく、必要に応じて散発的にPRするだけでは、効果は薄いと思います。</p> <p>○県の観光行政のPRを活用したり、PRに積極的な業者と連携して金を掛けずにうまくPRに結び付けていただきたい。</p> <p>○PRする地域や内容等を検討し、継続的に行わないと効果が見えづらい。また、PRの方法についても検討が必要だと思います。</p> <p>○海外の雑誌に取り上げられても、観光のルート（実績）が無ければ、通常の観光客は、来たくても海外から目的地にたどり着けないと思います。</p> <p>○観光農園などは切り口として1つの武器になります。海外を扱っている旅行会社向けの専用チラシを作るなど、PR方法を工夫すれば需要は大いにあると思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

9	若者交流促進事業	企画公室
---	----------	------

●個別評価の判定

評価人数 9 名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	9 名			
②有効性	2 名	6 名	1 名	
③効率性	1 名	7 名	1 名	

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1 名	8 名			
評価に関するコメント	<p>応募者数が毎回定員を上回るなど、住民のニーズは高いと思われますので、結婚という実績（成果）は少ないですが、継続実施は必要だと考えます。実行委員の皆さんの工夫と熱意で、今後もぜひ続けていただきたいと思います。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○交流イベントだけではなく、セミナーを開催するなど、事業の成功に向けた努力と工夫が感じられます。</p> <p>○必要性は大いにありますが、結婚までとなるとどうしても有効性・効率性が低いものになってしまいます。</p> <p>○男性参加者の新規開拓が必要だと思います。</p> <p>○ある程度のニーズはあると思うので、続ける必要はあると思います。</p> <p>○公共団体が行うことによって、安心して参加してくれている側面があると思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

10	出産奨励祝金	住民福祉課
----	--------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	3名		
②有効性	3名	4名	2名	1名
③効率性	3名	5名	2名	

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	1名	7名	1名	
評価に関するコメント	<p>対象者としてたまたま貰えたということではなく、本事業があるため安心して第3子を産もうと思えるような、出生率の向上につながる住民への周知をもっと積極的に行っていただきたい。また第2子についても祝金交付の必要性が高いと思われるため、是非検討いただきたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○事業の必要性は大いにありますが、課題解決・改善にはなっていないと思います。第3子から祝金を交付するよりも、所得に応じて金額を変えるなどして、第2子から交付する方がいいと思います。</p> <p>○祝金の性質上、所得に応じて交付額を変動させるより、一律給付の方がふさわしいという一面もあります。</p> <p>○この制度は必要であると考えます。交付金額の妥当性(他市町等との比較)や、支給者が第3子のみでいいのかは、今後検討すべきであると思います。</p> <p>○子供1人を育てる費用は大変負担が大きく、出産時10万円の祝金だけでは果して、3人目を産むというインセンティブになっているか疑問を感じます。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

11	かつらぎ町学童保育促進事業補助金	教育総務課
----	------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	8名	2名		
②有効性	1名	9名		
③効率性	1名	9名		

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	3名	4名	2名	1名	
評価に関するコメント	<p>女性の社会進出が増えることで、本事業の必要性が高まると思われます。今後学童保育の希望者が増加した場合も、受け入れ拒否とまらないような体制と、利用者のニーズを取り入れた対応となるよう、学童保育運営団体への働きかけをお願いしたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○女性の社会進出が増える中で学童保育は必要となると思います。その中で保育料の減額措置は必要性としては大いにあると思います。</p> <p>○保護者の働きやすい環境づくりの為に必要であると考えます。</p> <p>○今後益々共働世帯も増加することが予想されると思いますが、子供の人数や住民ニーズにあわせて、学童保育を充実させていただきたい。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

12	子育て講座（トリプルP）事業	教育総務課
----	----------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	5名	4名	1名	
②有効性	3名	6名	1名	
③効率性	2名	5名	3名	

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	4名	3名		1名
評価に関するコメント	<p>大変重要な事業であると思われます。そのため、より参加しやすい曜日・時間の選定やクール数、対象者（子育てに悩んでいる方）の情報収集や勧誘方法など、1人でも多く参加いただけるよう内容の検討をしていただきたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○大変重要な取り組みであると思うので、参加の誘導など必要に応じて改善を加えながら充実させていただきたい。</p> <p>○成果が分かりにくい、実際にこの事業を行うことにより、虐待が1件でも減る可能性があるということは大事であると思います。</p> <p>○土曜日も仕事があり、参加したくてもできない方も多いのではないのでしょうか。日曜日に開催すれば参加者が少し増えるかも。</p> <p>○実際に虐待を行っている方や深く思い悩んでいる方など、本当に必要としている人に参加してもらうのは難しいように思います。</p> <p>○参加者が年間で6人は少ないと思います。受け入れ態勢も含め、改善が無ければ保健師のケア体制の強化など、他の方法を考える必要があると思います。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

13	地域おこし協力隊事業	花園地域振興課
----	------------	---------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	2名	6名	1名	
②有効性		6名	3名	
③効率性		6名	3名	

●評価判定（今後の方向性）

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	1名	7名		
評価に関するコメント	<p>事業の目的そのものは意義のあるものであると思いますが、花園地域で現在行われている協力隊員の活動は、地域の便利屋さん程度の仕事にとどまり、地域おこしの支援活動までは達していないように感じます。3年後の地域への定住定着を図るための目的を持った活動となるよう、行政の支援と指導をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○3年後、花園地域に住み続けることができる施策・対策が必要だと思えます。また、3年間の活動内容の定期的な検証も必要だと思えます。</p> <p>○3年後定住・定着があればその点については良いと思えますが、その間の3年間の活動についての実績・成果が見えづらいように思えます。</p> <p>○複数名で活動する方が隊員同士でも相談できそうで、2名以上が望ましいと思えます。活動内容が地域の活性化につながるように、町としても誘導していただきたい。もっと隊員を有効にかつようしていただきたい。</p> <p>○花園へ定住してもらえるように担当課からも指導が必要です。送迎等は業務ではない気がします。</p> <p>○最初の面接時に相手方の目標や活動内容を確認し、意見調整をしっかりと図ることが大切と思えます。</p> <p>○協力隊員の仕事の内容を見直す必要があると思えます。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

14	高齢者サロン事業	やすらぎ対策課
----	----------	---------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	9名	1名		
②有効性	3名	7名		
③効率性	3名	7名		

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	3名	6名	1名		
評価に関するコメント	<p>参加者数が増えているということは、ニーズや必要性があるといえると思います。しかしながら、現状ではボランティアで会を支えている世話人やリーダーの負担は大きく、今後の事業の継続・発展を考えたときには、地元指導者の発掘や育成が重要となり、町の支援が必要であると考えます。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○多人数での運営は大変であるため、地域性も考慮しながら、町内会単位にするなど、町によるアドバイスや指導が必要と思います。</p> <p>○引きこもりにならないようにするための、高齢者サロン事業は必要であると思います。</p> <p>○事業を継続し、サロン数を増やし、高齢者人口におけるサロンのカバー率をもっと上げていただきたいと思います。</p> <p>○必要性は大いにあると考えます。そのため、ボランティアの人達の負担を減らすことを考える必要があります。</p> <p>○地域おこし協力隊が活動している地域では、協力隊員にサロンの運営をお願いしてはどうか。</p> <p>○若い人は自分の生活や趣味・時間を優先するため、新たな世話人の育成は難しく、町の協力が必要です。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

15	救助資機材購入補助金	総務課
----	------------	-----

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	4名	6名		
②有効性	4名	6名		
③効率性	2名	8名		

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	7名	1名		
評価に関するコメント	<p>災害対策は大変重要であると思います。そのため各自主防災組織が一定の水準で資機材を配置しておく必要があると考えます。その点で事業の継続を望みますが、現状では組織によって整備や考え方に差があるため、整備が遅れている組織に対し、町から今まで以上に働きかけを行う必要があると思います。</p> <p>また、購入した資機材の日々の整備や管理を徹底していただくよう、指導をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○大規模災害が発生した場合、組織間で資機材の相互利用を行える状況にはならないと思われます。全ての組織が一定水準の配備を行うよう、町からの指導が必要と考えます。</p> <p>○日々の点検等を実施し、必要な時には必ず使用できるような状態を保つことが重要です。飲料水や食料は特に、期限の管理を怠らないように指導いただきたい。</p> <p>○やはり、防災対策として必要性は高いと思います。町として各自主防災組織の現状の整備を把握しているということなので、今後、防災上特に必要性の高いと思われるものについては、場合により全額補助にして、必要な整備を備えることも考えてはどうかと思います。</p> <p>○組織によって資機材の充実度に差があるように思います。大規模災害時にどの地域でも対応できるよう、資機材が不足している地域から優先的に購入補助を行った方が良いと考えます。</p> <p>○人数の多い組織は自己負担が少なく、人数の少ない組織は自己負担が多くなるため、全組織が同水準の配備を行えるようにする必要があると考えます。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

16	プレミアム付商品券発行業務	産業観光課
----	---------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	2名	8名		
②有効性	3名	7名		
③効率性	3名	3名	4名	

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
			5名	4名	1名
評価に関するコメント	<p>事業効果の検証が難しいところではありますが、利用額を見たとき、他市町での購入を抑制し、町内消費につながっている面もあり、一定の効果はあったと思われます。次回実施することがあれば、プレミアム率や販売数、事務負担の軽減などの検討をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○町の負担や事務量を考えると効果が少なかったように思います。</p> <p>○本事業のインパクトは大きく、このことにより賑わいが生まれ、町内の活性化という点から見ればよかったと思います。</p> <p>○今後このような制度が続けられればと考えます。多少なりとも成果はあったと思います。</p> <p>○商品券の購入状況を見ると町民ニーズはあったように思いますが、コストに対する成果が分かりづらい。</p>				

平成28年度 行財政対策協議会事業評価結果

17	住民参加のまちづくり支援事業	企画公室
----	----------------	------

●個別評価の判定

評価人数 10名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	8名	2名		
②有効性	8名	2名		
③効率性	1名	8名	1名	

●評価判定（今後の方向性）

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	6名	3名		
評価に関するコメント	<p>地域住民が自主的に取り組みを行うきっかけを作る事業として必要であると思います。更により良い制度とするためには、まちづくりに本当につながっているか、もっと良い方法がないか等の検討を行うことが重要です。また、有効的な補助金の活用方法や、支援終了後の事業継続に向けて、町の指導をお願いします。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<p>○地域の行事が少なくなっています。今後も自主的な地域イベントに助成を行っていただきたい。</p> <p>○概ね現状維持でよいかと思えます。</p> <p>○支援が終わってもイベントを継続している点から、効果はあると考えます。</p> <p>○年に1度の事業が多く、1回だけのイベントでは本当にまちづくりの推進につながっているとはいえないように思えます。この事業がベースとなって、活力あるまちづくりが行えるよう、活動内容を見直す必要もあると思います。</p>				